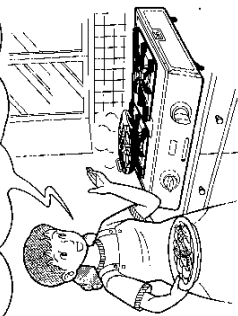


ガステーブル

品名 SN-A026B-LA 機器コード 1225198
 SN-A026B-RA 機器コード 1223199

取扱説明書 保証書付

このたびはガステーブルをお買い上げいただきましてありがとうございます。
 ●ご使用まえに、この取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。
 ●この取扱説明書の23ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。



正しく使って上手に節約

型式名 GC-206BL
 GC-206BR

もくじ	ページ
安全上のご注意	1~6
機器の組立て	7
●乾電池の取り付けかたと交換	7
●ハーナー一部の確認	8
ガスの接続	9
●ガス用ゴムの接続	9
●ガスコードの接続	9
周囲の防火措置	10
特長と各部のなまえ	11
使いかた	12
●点火・消火のしかた	12
●温度センサー付きコンロの使いかた	13
使用上のご注意	15
点検・手入れ	16
●日常点検のポイント	16
●お手入れのしかた	17
故障かな?と思ったら	19
●こんなとき、ここを調べて	19
調理中、自動消火したとき	20
長期使用しない場合	20
仕様と外形寸法図	21
アフターサービスについて	22
保証書	23

使用時注意

使いかた

点検・手入れ

故障かな?

安全上のご注意

ご使用まえに、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示しています。

注意事項は危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

その表示の意味は次のようになります。

危害・損害の程度とその表示

- △危険** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- △警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- △注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	火災注意		一般的な危険・警告・注意		△記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」を告げるものです。
	一般的な禁止		火気厳禁		○記号は、してはいけない「禁止」を告げるものです。
	接触禁止		分解除禁		●記号は、必ず実行していただく「強制」を告げるものです。
	必ず行う				

機器本体の表示について

安全表示
 火災予防・やけど防止のため、次の表示をしています。
 ●使用中、電話・家電など、その場を離れるときは、必ず消火する。
 ●可燃物・可燃物の近くで使用しない。
 ●機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない。
 ●使用中、使用箇所は高温部に触れない。

取扱上の注意
 取扱上の注意について表示しています。

銘板
 型式名、使用ガスの種類・製造年月および型番を表示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
 ※取扱説明書あるいは機器本体の表示(安全表示、取扱上の注意、強制)を、また汚損などで読めなくなった場合、お買い上げの販売店で購入(有料)してください。

取扱説明書	SN-A026B-LA <GC-206BL>	1	2	2	5	1	9	8
	SN-A026B-RA <GC-206BR>	1	2	2	3	1	9	9
								13011

安全上のご注意

警告

ガス用ゴム管は、正しく接続する

- ゴム管は、ガス用ゴム管（検査合格またはJISマーキングの入っているもの）を使用してください。
- ガス用ゴム管はホースエンドの赤い線まで差し込み、ゴム管止めをしっかり押しつけてください。
- ひび割れたゴム管は取り替えてください。
- ガス漏れや一酸化炭素中毒、爆発の原因になります。

近くに燃えやすいものを置かない

- 機器の上や周囲には、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアソール缶など）のものを置かないでください。
- 機器本体の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。
- 焦りたりの燃えたりして火災の原因になります。

ガス用ゴム管は、緩みたり、高温部に触れたりしない

- 緩みたり、二又分岐はしないでください。
- 高温部に触れたり、折れたり、傷つけたりしないようご注意ください。
- ガス漏れや燃焼して使用するなど、危険な場合があります。

機器の周囲で可燃性ガスを使用しない

- スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。
- スプレー缶など缶内の圧力が上がるものを近くに置かないでください。
- 火災や一酸化炭素中毒の原因になります。

ガスコードは正しく接続する

- ガスコードをご使用の場合は、器具用プラグおよびガスコードの取扱説明書に従って、正しく接続してください。
- まちがった接続をした場合、ガス漏れの原因となり危険です。

火をつけたまま離れない

- 火をつけたまま離れたり、お出かけやおやすみは絶対にしないでください。
- 常に天ぷら、揚げものをしているときは危険です。調理中のものが燃えて、火災の原因になります。

危険

ガス漏れに気づいたらすぐ使用をやめる

- ① ガス栓を閉める
- ② 窓を開ける
蒸や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③ 販売店、またはおまよりの東京ガスに連絡する

炎や火花で引火し爆発事故の原因になります。

火をつけない

石頂の①～③の措置をし、販売店または東京ガスの処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない、電気器具（換気扇その他）のスイッチ入、切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電線を触らないでください。

炎や火花で引火し爆発事故の原因になります。

警告

銘板表示のガス栓を使用する

- 必ず銘板（機器右側面に貼付）に表示してあるガス種（ガスカラー）を使用してください。
- わからぬ場合はお買い上げの販売店、またはおまよりの東京ガスにご相談ください。
- 銘板表示したときにも、必ず確かめてください。燃焼と一致していることを、必ず確かめてください。燃焼不完了状態により一酸化炭素中毒になり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。

可燃性の壁や家具から十分離す

- 設置の際、可燃物（家具、壁その他）との距離は10ページに記載の寸法をとってください。
- 距離がとれない場合は、防熱板を必ず取り付けてください。
- 火災のおそれがあります。

設置後に吊り戸棚など改造しない

機器を設置した後、機器の周囲を改造しないでください。

（例えば、吊り戸棚をつけるなど）

火災予防上問題となる場合があります。不完全燃焼や火災の原因になる場合があります。

使用指針

安全上のご注意

⚠️ 注意

落下物のあるところや不安定なところに設置しない

キャビンモニターや船舶など不安定な場所で使用しないです。
落下したものが燃えたり、機器が傾いて、火災ややけどの原因になります。

こころをおおような調理用具は使用しない

深淵に大きな鉄板や直径32cm以上のなべなど、柄を滑かさないような標準の調理用具は使用しないでください。
異常過熱による火災や一酸化炭素中毒の原因になります。

部品は正しく取り付ける

バーナーキャップやしる受け皿、ごくは、上下・前後を正しく取り付けて使用してください。
(7~8ページ参照)
取り付かなかったりまちがって取り付けた場合、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火によるやけどの原因になります。

調理以外の用途には使用しない

この機器は調理専用です。
● 調理以外の用途には使用しないでください。
● 衣類の乾燥などに使用しないでください。
● 過熱、異常燃焼や蒸気の落下によって、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

補助具は指定品以外は使用しない

しる受け皿の上に市販のアルミはく職しる受け皿を使用しないでください。
一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

幼児にはさわらせない

● 幼児にさわらせたり、子供だけで使わせたりしないでください。
● まわりの人が注意を促してあげてください。
火災ややけどの原因になります。

使用の手順

⚠️ 警告

異常時は使用を中止する

① 消火する

② ガス栓を閉める

● 使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感知されたときは使用を中止し、「初燃がな?と思つたら」(19ページ)に従ってください。
それでも直らない場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、またはもよりの東京ガスに連絡してください。
● 地震、火災など緊急の場合は、あわてずに使用を中止してください。
火災および一酸化炭素中毒の原因になります。

点火、消火を確認し、使用後はガス栓を閉める

● 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正燃に燃焼していることを確かめてください。
火災や爆発の原因になります。
● 使用後は消火を確かめ、ガス栓を閉めてください。
また、お出かけやおやすみの際には必ずガス栓を閉めてください。
ガス漏れを防止するためです。

自分で分解、修理、改造をしない

お手入れが必要なところ以外は、絶対に分解したり、修理や改造をしないでください。
一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

⚠️ 注意

風の吹き込むところに設置しない

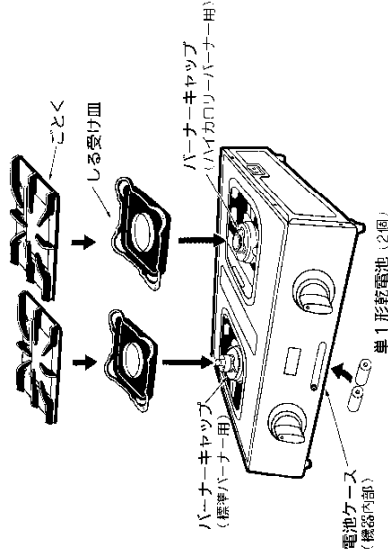
風で炎が吹き消されたり、調理のものが過熱されて火災の原因になります。

漏洩器の下や、樹脂製の照明器具の下に設置しない

一酸化炭素中毒や火災、変形の原因になります。

機器の組立て

- 図は、SN-A026B-LA（温度センサー付標準バーナーは左側）を表示しています。SN-A026B-RAは標準バーナーが右側に、ハイカロリバーナーが左側になります。
- 包装材料をすべて取り除き組立てます。
- 部品を固定しているテープ類を取りはずしてください。



このときは、縦方向と横方向の2通りでの使用が可能です。

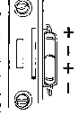
乾電池の取り付けかたと交換

- この機器は、天ぷら油過熱防止機能（標準コンロ）、点火などを制御するために乾電池を使用しています。
- 乾電池の交換時期をお知らせする電池交換サインが付いています。
- 標準コンロ使用中に、電池交換サインが点滅したら新しい乾電池と交換してください。
- 電池交換サインが点滅から点灯に変わると標準コンロは使用できません。
- 乾電池の交換は、2個同時に、新しい同種のものをお使いください。
- 行廉の乾電池は工場出荷時のものです。自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

ご注意

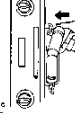
- 使用済乾電池は分解したり、加熱したり、火の中に投げ込みたりしないでください。
- 万一、乾電池から漏れた電解液が皮膚に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

- ナフラスが右側になるように入れる。
- 先に入れた乾電池を押しながら、2個目を入れると簡単です。



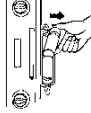
取り付けかた

- ナフラスが右側になるように入れる。
- 先に入れた乾電池を押しながら、2個目を入れると簡単です。



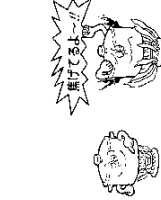
取り外しかた

- 右側の乾電池から引き出す。



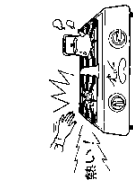
注意

なべに合った火力で使用する



やかんやなべのなべのところがこんがりバーナーの炎で過熱されたり、焦げたりすることがあります。お使いになるやかんやなべの大きさに合わせて、火力を調節してください。とってが熱くなり、やけどの原因になります。

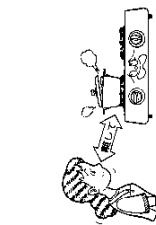
使用中や使用直後は、高温部に触れない



● 使用中および使用直後は、機器とその周辺および調理用者が熱くなりますので、操作部以外は触れないでください。

● 特に小さいお子様がいるご家庭は注意してください。やけどの原因になります。

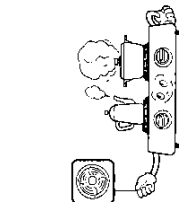
使用時、バーナー付近に顔を近づけない



● 点火操作をされる時、バーナーに顔を近づけないでください。

● 使用中は、無意識に身体の一部や衣服がバーナーに近づかないようにしてください。炎や熱でやけどをしたり、衣服に炎が移り危険です。

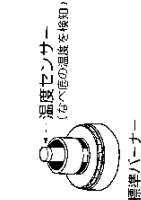
使用中は換気する



使用中はとまどや急を聞けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。

● 酸化炭素中毒の原因になります。

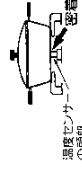
揚げもの調理は、必ず天ぷら油過熱防止機能の付いている標準バーナーを使用する



● 温度センサーの付いている標準バーナーには、「揚げもの調理」プレートに「揚げもの用」と表示してあります。温度センサーが付いていないハイカロリバーナーを使用しますと、天ぷら油過熱防止機能が働かず、過熱による火災の原因になります。



● 温度センサーに適するなべを使用してください。（13ページ参照）なべなどの種類によっては温度センサーが正しく働かないことがあります。



● なべ底と温度センサー誤作動を認識させてください。（14ページ参照）温度センサーが正しく働かないことがあります。

ご使用まで

ガスの接続

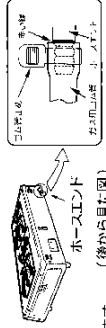
ガス用ゴム管の接続

警告

ガス用ゴム管はホースエンドの赤い線まで差し込んで、ゴム管止めでしっかり止める



ゴム管が抜けたりすると、ガス中毒や爆発の原因になります。



ガスコードの接続

警告

ガスコードは正しく接続する



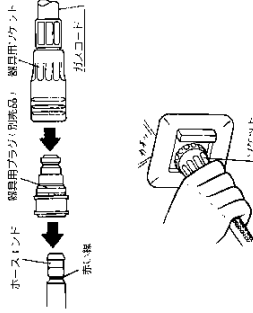
まちがって接続すると、ガス漏れの原因になります。

■ガス機器側の接続

- 別売の器具用プラグとガスコードを用います。
- 器具用プラグを器具用プラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明書に従って、機器のホースエンドに取り付け、つぎにガスコードの器具用ソケットを器具用プラグに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

■お部屋のガス栓側の接続

- お部屋のガス栓がコンセント型の場合は、ガスコード等のガス専用ソケットを、ガスコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



ガスコンセントについて

★「ガスコンセント」は、ガスコード等を取り付けると自動的に閉栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

◆フタを開ける



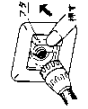
ガスコード等を接続するときは、まずフタの右端を押し、フタを開けます。

◆取り付ける



ガスコード等のガス専用ソケット側をガスコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

◆取りはずす



ソケットをはずすときは右側にあるフタを押します。

バーナー部の確認

注意

バーナー部の部品が正しく取り付けられているか確認する



- ①ごときを取り付けている。
- ②しる受け皿を取り付けている。
- ③バーナーキャップはバーナーボディに密着している。

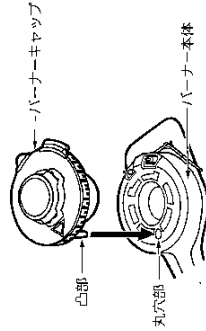
設置時やご使用まえには必ず確認してください。

正しく取り付けられていないと、煙火しなかったり、炎が不安定になるなど不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。

■バーナーキャップの取り付け

図はハイカロリバーナーです。標準バーナーも同じ要領で確認してください。

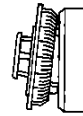
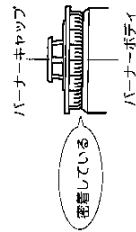
- バーナーキャップ上面の「▼」印を手前にして、「▼」印の下にある凸部をバーナー本体の丸穴部にはめこみ、確実にセットしてください。



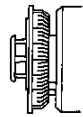
(前から見た図)

確認

- バーナーキャップがバーナーボディに密着している。
- 浮いていたり、傾いたりしていない。



浮き上がりのないこと



傾きのないこと

ご使用ください

周囲の防火措置

警告

可燃性の壁、家具・棚などから離して設置する

離さないで設置すると、可燃物が過熱されて火災の原因になります。

■設置場所の周辺に可燃物（木製の壁・棚など）がある場合（図1）

- 機器の側面および背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。
- 機器の上方の天井、吊り戸棚など可燃性の部分との間隔は100cm以上離してください。

■図1の条件を満たさない場合は、防熱板を下図のとおり必ず使用してください。

- 0.3mm以上のステンレス製の防熱板であっても、指定の防熱板以外は使用しないでください。
- 機器の側面および背面が可燃性の壁から15cm以上離さない場合。（図2）
- 調理台・流し台とトッププレートがほぼ同じ高さの場合。（図3）
- 調理台・流し台がトッププレートより高い場合。（図4）

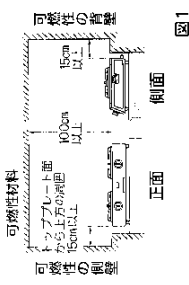


図1

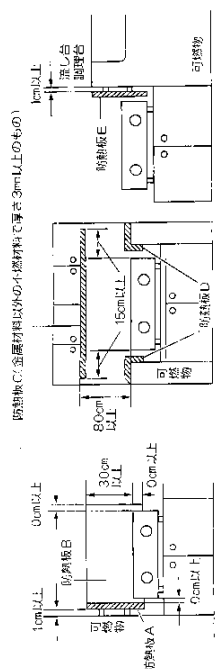


図2

図3

図4

木製など可燃性の壁にステンレス板などを貼り付けている場合でも、伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になるおそれがあるため図1～図4の防火措置を行ってください。

防熱板（別売品）について

●防熱板は、お買い上げの販売店、またはおよりの東京ガスでお求めください。

種類	品番	寸法（高さ×幅）	備考
防熱板A	GCP-6-55	34×55cm	側壁用
防熱板B	GCP-6-60	34×60cm	後壁用

防熱板C、D、Eについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

●防熱板の取り付け方法は、別売防熱板の中に付属されている取付説明書に従ってください。

特長と各部のなまえ

- 図は、SN-A026B-LA（標準バーナーは左側、ハイカロリバーナーは右側）で表示しています。SN-A026B-RAは、標準バーナーが右側に、ハイカロリバーナーが左側になります。
- 温度センサーは、標準バーナーに付いています。
- 内の数字は説明しているページを示しています。

標準コンロ 温度センサー

温度センサーは、油の調理・蒸気の調理を自動判別して、次のような機能が働きます。

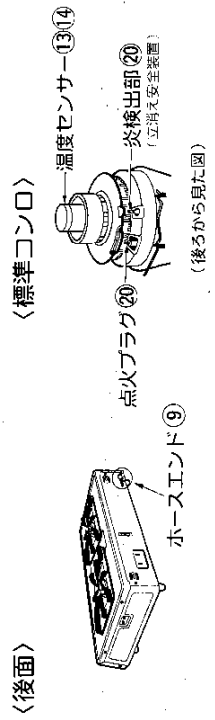
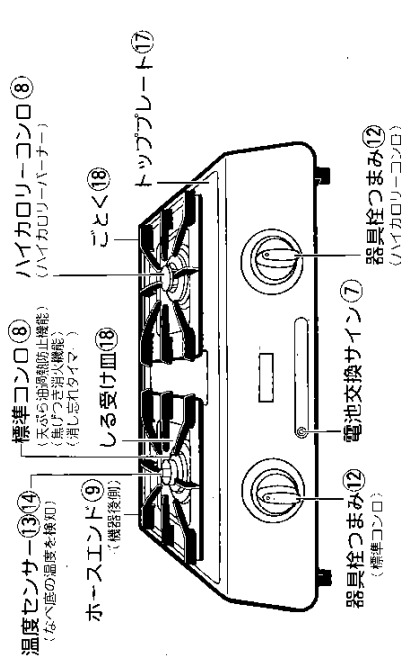
1. 天ぷら油温度防止機能
油の温度が高くなりすぎると自動消火します。
2. 揚げつき消火機能
煮こみ調理で揚げつきはじめたら自動消火します。

標準コンロ 消し忘れタイマー

標準コンロは2時間連続してお使いになりますと自動的に消火し、消し忘れを防ぎます。

連続放電点火

1回の操作で簡単に点火できます。



取扱説明書	SN-A026B-LA <GC-206BL>	1	2	2	5	1	9	8
	SN-A026B-RA <GC-206BR>	1	2	2	3	1	9	9
								13061

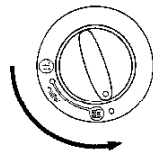
使いかた

点火・消火のしかた

1 点火

器具栓つまみを押したまま左へ止まるまで回す

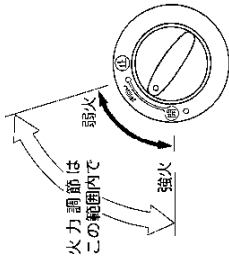
- ハーナーへ点火したことを確かめ、数秒間（立消え安全装置が働くまで）押し続けてください。
- 押し不足のときは、着火しない場合があります。
- 標準ハーナーは電池交換サインが点灯しているときも着火しません。
- 新しい乾電池と交換してください。



2 火力調節

炎を見ながらゆっくりと器具栓つまみを右へ回して調節してください。

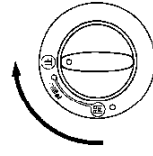
- 器具栓つまみを右へ回して調節してください。
- 器具栓つまみを右へ回して調節してください。
- 器具栓つまみを右へ回して調節してください。
- 器具栓つまみを右へ回して調節してください。
- 器具栓つまみを右へ回して調節してください。



3 消火

器具栓つまみを押し戻して「止」の位置まで戻す

- 器具栓つまみを押し戻して「止」の位置まで戻す
- 器具栓つまみを押し戻して「止」の位置まで戻す
- 器具栓つまみを押し戻して「止」の位置まで戻す
- 器具栓つまみを押し戻して「止」の位置まで戻す



温度センサーの付いている標準コンロは、2時間連続して使用しますと、安全のため自動消火します。連続して再使用する場合は、器具栓つまみを「止」の位置に戻し、もう一度点火操作をやり直してください。

取扱説明書

SN-A026B-LA <GC-206BL>
SN-A026B-RA <GC-206BR>

1 2 2 5 1 9 8
1 2 2 3 1 9 9 13071

使いかた

温度センサー付きコンロの使いかた（標準コンロ）

- 標準コンロには、調理油が危険温度になるまでに自動消火（天然油防滴防止機能）させるためや、煮こみ調理で焦げつきはじめてから自動消火（焦げつき消火機能）させるために、温度センサーが付いています。
- 温度センサーを正しく動かせるためには、温度センサーに適したなべを使用して、なべ底を温度センサー頭部に密着させることが重要です。

適するなべ、適さないなべ

- 市販の調理用なべには、温度センサー（なべ底の温度を検知）が正しく働くものと働かないものがあります。下表の「適するなべ・適さないなべ」を参考にしてご使用ください。

注意

温度センサーに適するなべを使用する

- 適するなべ：唇の平らな、熱の伝わりやすい金属（アルミ等）製のもの。
 - 適さないなべ：底が凹んだり、土なべ、耐熱性ガラスなべなどの金属でないもの。
- なべなどの種類によっては、温度センサーが正しく働かないことがあります。

なべなどの種類	油もの調理	煮もの調理	備考
鉄なべ アルミなべ	○	○	●熱の伝わりかたは適していますが、油の量が200mL以下の場合発火することがありますのでご注意ください。
厚手の薄ステンレスなべ ホーローなべ	×	△	●鍋の調理において、温度センサーが油の温度を正確に読みとることができず、油の量が200mL以上でも発火することがあります。
底の丸いなべ 打ち出しなべ	×	△	●焦げつき消火機能が働いたときの焦げつきは、鉄なべやアルミなべより少し強くなります。
耐熱性ガラスなべ 土なべ	×	△	●なべ底の凹凸の大きいものは使用できません。
無水なべ	×	△	●油調理には使用できません。
圧力なべ	×	△	●熱の伝わりかたが悪いので、焦げつきがひどくなったり調理中に自動消火することがあります。
焼網	—	—	●調理の種類や水言によっては、温度センサーが正しく動かず途中で消火することがあります。ハイカリコンロで火の急激な燃焼に調理してください。
	○：適する	△：注意しながら使用する	×

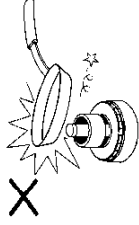
使いかた

使用上のご注意

■温度センサー部に、強いシヨックを加えたり

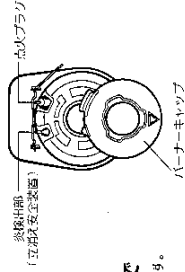
さず付けたりしない

温度センサーが正しく働かなくなります。



■炎検出部を汚さないで

立消え安全装置の炎検出部や点火プラグに蒸こぼれや水滴が付くと、点火しにくくなったり、消火することがあります。蒸こぼれや水滴はふき取ってください。(18ページ参照)

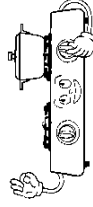


■炎検出部や点火プラグに固いものをぶつけないで

炎検出部や点火プラグの取り付け位置が変ると点火しにくくなります。

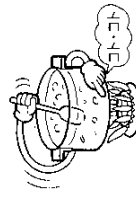
■点火はなべをのせてからする

- 焼きに火をつけるため、点火操作はなべをのせてから行うください。
- なべはコンロにかけのままで水気をふき取ってください。



■標準コンロで調理食品をあたたためるときは

- 中火～弱火であたためる。
- 水分の少ないものは水を加える。
- トロミのあるもの(カレー、シチューなど)は、焦げつきやすいのでときときかき混ぜる。「焦げつき消火機能」を正しく働かせるためです。



■標準コンロで引き続き調理するときは

- 温度センサーが冷えてから調理終了後、引き続き調理するときや、なべのせかえをするときは、一度火を消し、温度センサーが冷えるまでしばらく待つてから使用してください。「焦げつき消火機能」を正しく働かせるためです。



使いかた

正しいなべのせかた

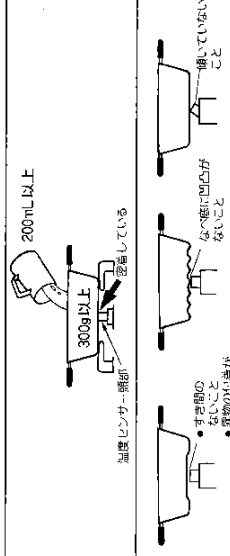
温度センサーを正しく動かせるためには、なべ底が温度センサー頭部に密着していることが重要です。下記の「正しいなべのせかた」に従って、正しくセットしてください。

△注意

温度センサーを正しく動かせるために、なべ底を温度センサー頭部に密着させて使用する



温度センサー頭部となべ底との間に異物があったりすき間がある、温度センサーが正しく働かないことがあります。



正しいなべのせかた

- 天板、フライなどの揚げもの調理をするときは、必ず200mL以上の油を使用してください。少量の油は「天板ら油滴防止機能」が正しく働かないことがあります。
- なべの重さは調理物の重さを含んで、300g以上の重さが必要です。
- 解きると、なべ底と温度センサー頭部が密着しないおそれがあります。また、なべの安定がわるくなります。
- 必ず温度センサーの中心となべの中心を合わせてください。
- 片手なべは不安定になりやすいので注意してください。

■温度センサーが作動して消火したとき

温度センサーが働いて自動消火したときは、器具待つまみを確実に「上」に戻し、温度センサーの温度が下がってから再点火してください。

■このような調理はハイカロリーコンロで

標準コンロは、温度センサーが約250℃になると自動消火してしまふので、中にはにがてな調理もあります。



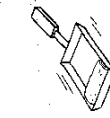
(例)

ワインナー炒め、煎りもの調理時間が長くなる途中で消火します。

- ほとんど水分が出ない調理
- なべを傾ける調理

このような調理は、時間が長くなる温度センサーが働いて、途中で消火することがあります。

(例)



ただし巻き玉子などなべを温度センサーから離している時間が長いと途中で消火します。

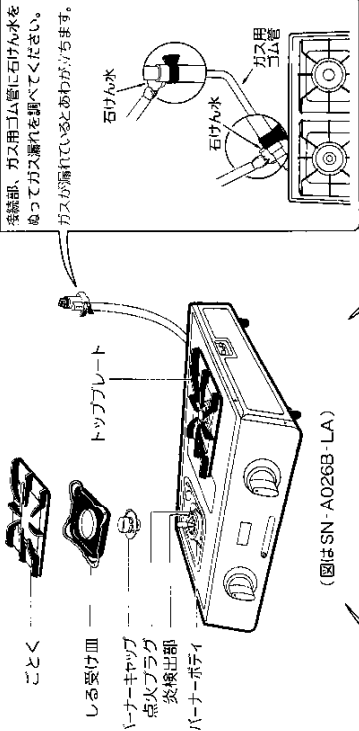
点検・手入れ

- 快速で安全にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行ってください。
- 点検・手入れは、必ずガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- 点検で異常を見つけたときは、お買い上げの販売店、またはもよりの東京ガスに連絡してください。
- お手入れ後は「機器の組立て」(7~8ページ)・点検・手入れ(16~18ページ)をごらんになって、部品を正しく取り付けてください。

日常点検のポイント

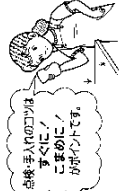
燃焼に異常はありませんか？
バーナーホティの内部に、蒸こぼれがたまったりクモの巣などの異物があると、炎の色が黄色くなったりすすが発生します。
異物は取り除いてください。

ガス用ゴム管は正しく接続されていますか？
ホースエンド、ガス栓の赤い輪まで差し込み、ゴム管止めで止めてください。
ひび割れたゴム管は取り替えてください。
古くなるとうひび割れしたり、差し込み口がゆるくなることによってガス漏れの原因になります。
(3ページ参照)



機器の周囲に可燃物などはありませんか？
機器の上や周囲に、可燃性や引火性のものを置かないでください。
(3ページ参照)

汚れていませんか？
蒸こぼれなどの機器の汚れはお手入れしてください。
バーナー炎の目詰まりは掃除してください。
(17~18ページ参照)

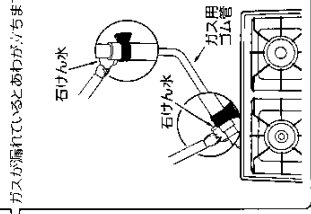


点検・手入れの際は、必ず「ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。」



このように、ガス用ゴム管を正しく接続してください。

ガスが漏れていませんか？
接続部、ガス用ゴム管に石けん水をぬってガス漏れを調べてください。
ガスが漏れているとあわががちます。



点検・手入れ

お手入れのしかた

お手入れの用具と洗剤
■ やわらかい布やスポンジ、タワシで手入れする
■ 洗剤は台所用中性洗剤を使用する

お手入れ時
■ 手袋をする
■ シンナー・ベンジン・強力洗剤を使わない

機器表面・操作部

■ 濡れぶきんでふき取る
■ お手入れ後
■ トッププレート

濡れぶきんでふき取る

■ 濡れぶきんでふき取る
■ 濡れが漏れに落ちないとき

■ お手入れ後
■ 濡れた布で水気をふき取る。



濡れた布で水気をふき取る。濡れた布に汚れが残ることがあります。放置すると汚れが取れにくくなり、シミが残ることがあります。

取扱説明書	SN-A026B-LA <GC-206BL>	1	2	2	5	1	9	8	13091
	SN-A026B-RA <GC-206BR>	1	2	2	3	1	9	9	

故障かな? と思ったら

使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の点検と処置を行い、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い上げの販売店、またはもよりの東京ガスに連絡してください。絶対にご自分で修理なさらないでください。事故の原因になります。



ごとく・しる受け皿 濡れぶきさんでぶき取る

- 濡れのひどいとき
スポンジやワタに台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とす。
- 汚れが簡単に落ちないとき
塩・お酢・食塩・食酢などで軽くこすって落とす。
(表面のツヤや色がなくなりますが性能に支障はありません。)
(そのままお使いください。)

お願い

ホーロー仕上げですので、固いものに当てないでください。きずが付きやすいため、取り扱いにはご注意ください。



そのつどお湯で手入れすると、汚れは落ちやすくなります。

バーナーキャップ・コンロバーナー

汚れはスポンジ、目詰まりはブラシで掃除する

- お手入れ後
水洗いして、乾いた布で水気をふき取る。

お願い

固いものに当てたりしないでください。変形やきずにより、点火不良や異常燃焼の原因になります。

点火ブラグ・炎検出部

乾いた布でぶき取る

- 汚れのひどいとき
歯ブラシなどのやわらかいブラシで掃除する。

お願い

取り付け位置を動かしたり、きずを付けないでください。点火不良や故障の原因になります。

温度センサー

水気を回くしぼった布でぶき取る

お願い

- センサーに片手を添えて、お手入れしてください。取り付け位置を動かしたり、きずを付けないでください。正常に作動しないことがあります。
- センサーを押しつけてみて、上下にスムーズに動くか確認してください。汚れがひどくなると動きが悪くなります。

こんなとき

- 放電しない
- 点火しない
- 点火しにくい
- 点火してもすぐ消える



ここを調べて

(参照ページ)

- ガス栓が空欄になっていませんか? (3ページ)
- ガス用ゴム管が折れていませんか? (7ページ)
- 乾電池が正しく取り付けられていますか? (7ページ)
- 乾電池が消耗していませんか? (7ページ)
- バーナーキャップが正しくセットされていますか? (8ページ)
- 点火ブラグ・炎検出部やバーナーキャップが濡れたりしていませんか? (18ページ)
- 点火確認後、器具つまみを数秒間押ししていますか? (12ページ)

- 炎が不安定
- 炎が黄色いまたは赤い
- 異常な音がして燃える
- 使用中に消火する



- バーナーキャップが正しくセットされていますか? (8ページ)
- バーナーキャップの炎口が目詰まりしたり、水滴が付いていませんか? (18ページ)
- 黒こぼれしていませんか? (20ページ)
- 風の影響をうけていませんか? (4・20ページ)

- ガスのおいがする



- ガス用ゴム管は、確実に接続されていますか? (16ページ)
- ガス用ゴム管がひび割れたり穴があいていませんか? (16ページ)

- 調理中に消火する
(温度センサー付き
標準コンロ)



- 使用している燃焼室の形状・材質は適していますか? (13ページ)
- 温度センサーとなべの底が密着していますか? (14ページ)
- 温度センサーが高温になっていませんか? (14・20ページ)
- 2時間以上連続してお使いになっていませんか? (11・20ページ)

- 電池交換サインが
点滅・点灯する



- 乾電池が消耗していませんか? (7ページ)

故障ではない現象

- 点火音のときに「ポツ」「ポツ」という音がする
点火音や消火音です。故障ではありません。
- 点火・消火の後に、キシミ音がある
金属が加熱・冷却されるために、膨張・収縮して起こる音です。
- 使用中、「シャー」という音がする
ガスの通過音です。故障ではありません。

理由

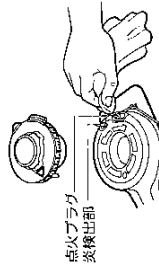
- 乾電池が消耗していませんか? (7ページ)

取扱説明書

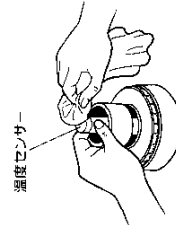
SN-A026B-LA <GC-206BL>
SN-A026B-RA <GC-206BR>

1 2 2 5 1 9 8
1 2 2 3 1 9 9
13101

お手入れ



点火ブラグ
炎検出部



温度センサー

調理中、自動消火したとき

左・右コンロ

■立消え安全装置が作動したとき

風や蒸こぼれて炎が消えたとき、立消え安全装置が働いて自動的にガスが止まります。(15ページ参照)
完全に止まるまで少し時間がかります。

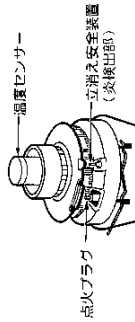
■標準コンロ

■温度センサーが作動したとき

●油もの調理中、温度センサーが約250℃以上になると、天ぷら油過熱防止機能が働き自動的にガスが止まります。(13～14ページ参照)

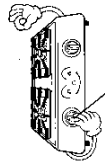
●煮こみ調理中、焦げつきはじめてから焦げつき消火機能が働いて自動的にガスが止まります。(13～14ページ参照)

■消し忘れタイマーが作動したとき
2時間連続してお使いになると、消し忘れタイマーが働いて自動的にガスが止まります。(11ページ参照)



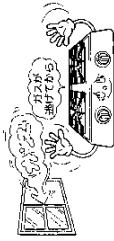
消火に気づいたとき

すぐに器具をつまみ「上」の位置に戻す。



再使用のとき

1. 周囲に生ガスがなくなくなるまで待つ。
2. 標準コンロは、なべ底と温度センサーが密着していることを確認し、温度センサーが冷えるまでしばらく待つ。(14～15ページ参照)
熱いなべの底のまま再び点火すると消火することがあります。
3. 炎検出部や点火プラグ部が汚れている場合は、手入れをする。(18ページ参照)
4. 標準コンロを2時間以上連続してお使いにしていたときは、もう一度点火する。



長期間使用しない場合

1. ガス栓を閉めてください。
2. 各部の汚れを取り除いてください。
3. 乾電池を取りはずしてください。
液漏れなどにより、燃焼の回数を妨げる原因になります。
4. ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
5. 湿気やホコリの少ないところに保管してください。

故障が癒?

20 21

取扱説明書

SN-A026B-LA <GC-206BL>
SN-A026B-RA <GC-206BR>

1 2 2 5 1 9 8
1 2 2 3 1 9 9 13111

仕様と外形寸法図

●仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

品名	SN-A026B-LA・SN-A026B-RA	
型式	GC-206B・GC-206BR	
使用ガス	13A	12A
使用ガスグループ	(kcal/h)	
個々のガス消費量	3.60 (3,100)	3.37 (2,900)
標準消費量	2.97 (2,550)	2.79 (2,400)
全ガス消費量	6.51 (5,600)	6.10 (5,250)
品名(種類)	ガステーブル(二口コンロ)	
点火方式	連続放電点火式	
外形寸法	高さ159mm(トッププレートまで124mm)×幅580mm×奥行424mm	
質量(本体)	5.8kg	
ガス接続	φ9.5mmガス用コイル管	
付属品	単1乾電池×2個	
安全装置	立消え安全装置 スurge過熱防止機能(標準コンロ) 消し忘れタイマー(標準コンロ)	

●(お願い) 本製品は家庭用です。業務用としてお使いになりますと著しく寿命が縮まります。

外形寸法図

